

平成20年12月10日（水）

○議長（中上良隆君）順番16、8番 岡本君。

〔8番（岡本昌次君）登壇〕

○8番（岡本昌次君）皆さん、おはようございます。議長のお許しを受けましたので、私、一般質問をさせていただきます。

私は1件でございます。

京奈和自動車道の側道の交差点への信号機設置ということでございます。なるほど、京奈和自動車道ができて、そして側道ができて、市民は非常に喜んでおります。まして、京奈和自動車道は奈良、大阪、遠くへ行く場合はいいんですけども、側道は市民にとって非常に利便性があっていいということが耳に入っております。

そこで、前日同僚議員が言っておりましたけれども、あの交差点は20数箇所あります。そこで、今私が言いたいのは、開通はしたものの、諸設備のほうは未完成に思っております。この開通を急いだということは非常に残念だなと思うんですけども、諸設備も折ってやってくれるものと、こう思っております。

そこで、私の質問でございますけれども、京奈和自動車道の橋本・五條間が完成して喜んでおります。それに伴い、側道も橋本・高野口間が開通し、市民はもちろん、通行する人、また車も便利になり、利便性に富んでいると感服しているところです。

しかし、今も言いましたけど、途中に交差点が20数箇所、たくさんあり、一部では信号機が設置されていますが、まだまだ不足しているように見受けられます。これというのも、時代に即した設備だと思っております。

といいますのは、今は徒歩で行くんじゃなくして車で行く、そしてスピード時代です。そこに対して、道路ができれば、やはり、今

の時代ですから、年寄りが車いすで通るということも多々あると思います。それを言っております。

私の信号機の設置希望箇所は、高野口中学校の生徒たちの通学路、すなわち、橋本市高野口町北名古曾から中学校へ通う道路と京奈和自動車道の側道の交差点のところなんです。この交差点の現状とえば、側道を橋本から高野口方面に来るときには、その地形を見ますと、山の切り取りであります。そして、急な下り坂になっております。しかもカーブになっているため、車に対しては「止まれ」の標示はしてありますが、気づかずに無視をして通過していく車が非常に多く見受けられます。気づいてとまろうとした車も、交差点内に進入して停止ということもあります。もちろん、きちんと一時停止を守る車もありますが、朝夕はこの道路を多くの中学生が通学に利用しています。また、平素の時間帯は車も非常に多いです。道々では、ボランティアの方たちが、子どもを守る会の人たちですが、朝夕立って見守ってくださっております。しかしながら、それも限界があると思います。

側道開通後、大事故には至っていませんが、通行人と車が危機一髪となるようなことがあったと聞いております。また、これは開通してからでございますが、現在も4件ほど事故が発生しておるということを聞いております。この事故は、私は詳細には聞いておりませんが、どのような事故であったかわかりませんが、事故があったということは聞いております。このままでは、いつか近い将来に大惨事に至ることは明らかなだと思っております。

それは、事故に対する条件が整っておるからです。今も言いましたけど、カーブと下り

坂と、ここでいったら切り取りと、こういう条件が事故の要素であります。

市長は「子どもは宝」とよくおっしゃっています。私はこの宝をしっかり守ってほしいと願います。そのためにも、一日も早く信号機の設置と、他の交差点にもカーブミラーの設置をするよう強く要望するところでございます。

ここで言いますけれども、通学路で信号機を建てるのは、神野々・出塔間の西部中学校、あの交差点には1個建っております。これを企画したときに、ここは、この道路と交差点は信号機が必要だということで提案してあると思いますが、私のおっしゃっている高野口のこの道路は提案していなかったのではないかと。というのは、条件が非常に悪いです。

先日も、私、あそこにおりましたら、ボランティアの方が3名来ておりました。その2人は交差点の左右におりまして、もう一人はどこにおるかといいますと、橋本から西向いて高野口に来るときに、右カーブになっておりますので、あそこにカーブミラーがついておるんですけども、わからないんだと。それで、交差点から十二、三メートル、橋本寄りです。そして、遮断機のようにして手をとめておる。生徒に行け、行けと、こう言うておるんです。向こうの2人は、早う渡ってくれと。それも徒歩の生徒は非常に少ないです、自転車通学でございまして。

そのときに私は言いました。限界があるということは、信号機であれば24時間動いておりますけれども、人は、時間帯に朝夕の通学路に立っておられます。その人に「遅うまで立ってくれているんだな」と言いましたら、「そうです。生徒は放課後、クラブ活動をやっておる。私たちは日没、日が暮れるまでこうして子どもを守っているんですよ。日が暮れましたら、車が通る場合はヘッドライトが

ついておるから」と、このようにおっしゃってました。毎日です。

そして、昼は、あの道路は非常に車が多く通ります。もう一つ、田原川の西に、突き当たりに道路がありますけれども、あれは、京奈和から来ましたら、踏切を渡って、高野口庁舎のところを渡って、駅前の通りを通らなければならない、大型の車は通れない。だから、あの道を通って、線路は立体になっていきますので、線路の下を通っております。そして、上を走って、伊都高校のところを直進して、24号線に出るんです。

よく見ますと、観光バスがよく伊都高校の前で待機しておるんですけど、あそこを通るのには、やはり京奈和から来て、ある通学路に来ます。駅からは来られません。だから、これを計画したときに信号機をなぜ考えられなかったのかなど。一般の方がおっしゃるのは、立体にしてもらうたらよかったなど。生徒は、中学1年から3年までかわっていきましても、毎年入ってくるんです。それで、3年間だけはその生徒が通っておるけど、今年々生徒数も少なくなってきたおるものの、中学生のある父兄に聞きましたら、あの道を通るのはだいたい中学生の何パーセント通るんですかと言いましたら、60%でしょうと。そのうち、自転車は半分以上です。それじゃ、危ないなど。歩いておれば、危ないととまれますけれども、自転車がふざけて通ったり、三、四人グループで来て、そして、待った、待ったということを大分とボランティアの方が言っていると。「どうぞ、岡本さん、あそこだけは、カーブミラーはついておるものの、カーブ、切り取りということで非常に見にくいんだよ。だから、信号だけはつけてくれ」と。ほかの信号機はあまり重視しないけど、これは子どもの命を守るために、まずは命です。市長の言う子どもは宝です。そして、あの道

は、今、お年寄りのジョギングの場所になっています。非常にあそこをよく通る、車も通る。

今言いましたけども、神野々からの信号機は2箇所ありますけれども、あそこは、よく見ると道が広いから、今、新しい東の信号機は非常に新しい道ですけども、車は大型が通りますけども、そのもう一個西は通学路になっています、西部中学校。それをつけてくれるのに、ここは何でつけてくれていないんだということ。

そして、それをカーブミラーということでございますけど、カーブミラーだけじゃなくて、標示板、これが欲しいと。そうですねと言うたものの、その人たちの言うのには、事故を招くのは、今標示板がないから、私もそうでしたというのでどうでしたのかと聞いたら、高野口から橋本まで行くのに、地区へ行くのに、この地区、この地区、その標示板がないためにブレーキを踏むところはここやったかな、あそこやったかなと。そのとき、後ろからスピードでキキッととまって、「ばかやろう」と言われたんです。これが一つの追突事故であるなど。それが慣れたらいいですけど、それも大阪から来る人は、「ここはどこへ行くんですか」、「これは橋本へ行くんです」、「そうですか」と言うと、それが慣れたらいいんですけど、地元の橋本市の市民はだいたいなれたと。今はどこでおりていいのかわからん。だから、標示板は早いことしてください、これが皆さんの要望でございます。本当に要求ですよ。だから、こういうことでひとつ、担当者にぜひとも設置してほしいということで第1回の質問を終わります。

**○議長（中上良隆君）** 8番 岡本君の一般質問に対する答弁を求めます。

建設部長。

〔建設部長（樽井豪男君）登壇〕

**○建設部長（樽井豪男君）** 京奈和自動車道側道の交差点へ信号機設置についてのご質問につきましてお答えいたします。

平成20年10月28日に供用開始いたしました、橋本インターチェンジから高野ロインターチェンジ間の側道4,659.6kmには大小14箇所の交差点があります。そのうち、通学路に使用されている道路との交差点は5箇所あり、岡本議員おただしの交差点も含んでいます。

供用開始以前より国土交通省にもお願いし、信号機の設置要望をしてまいりましたが、県公安委員会の年間設置箇所は全県で20箇所程度であり、その中で当側道には2箇所の設置にとどまっておりますが、信号機未設置の箇所につきましても今後も継続して強く要望してまいります。

また、信号機が設置されるまでの間、カーブミラー等で対処してまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

議員おただしの交差点は、以前よりカーブミラーの設置を予定してございまして、12月3日に設置完了しております。

**○議長（中上良隆君）** 8番 岡本君、再質問ありますか。

8番 岡本君。

**○8番（岡本昌次君）** 説明は簡単でございましたけども。

これは、県の公安委員会のほうでは20箇所と言っておりますけれども、こういう新しい道、これからまだまだ信号機が必要なところが増えてきますけれども、京奈和自動車道というところは、これは今部長がおっしゃいましたが、4.6km、合わせてですけども、この道路は20箇所のうちで第1、年度に入った第1回に指定してもらわなければならないと思います。

といいますのは、大型農道ができたときに、私はあそこを通過して泉佐野のほうへ仕事の関

係でよく通いましたけども、今も通っておるんですけれども、何ら、こんな道ができて、イノシカイタチが通るぐらいの道だと思っておりました。だが、今になったら、第2の24号線から通るんですよ。そして、中には、カーブのきついところには予告信号までついておるんです。あの道は農道ですよ。

でも、あの側道は、ただ、側道といえば側道かもしれませんが、非常に便利のええ、これからどんどん伸びていく。だから、あそこで一つ大きな惨事でも起こって、それから建てるというよりも、今、いち早く、こういう道路だからというて、市長にもお願いしたいんですけども、20箇所あるならば第一番目に設置していただけるように申請していただだけませんか、お聞かせください。

○議長（中上良隆君）建設部長。

○建設部長（樽井豪男君）まず、この京奈和側道につきましては、今議員おただしの箇所と、もう1箇所、吉原の県道の交差点と当初から要望してまいっております。これらは引き続き、また今年度もつけていただくような形の中で、県の20箇所の中にも、たとえ1箇所、2箇所でも早くつけていただきたいというのは絶えず要望しております。

まず、この設置を決めるにつきましては、県警察等、現地を見まして、あと、県下に張りつく20箇所のうちの緊急に要する箇所というのを県警察、また県公安委員会のほうが認定いたしまして、設置という形になっております。

私どもも非常に危ないというのは認識しておりますので、来年度、21年度に早急につけていただくような活動はしていきたいと思っております。

○議長（中上良隆君）8番 岡本君。

○8番（岡本昌次君）そこで、今4件ほど事故が発生している。まだ、開通して1カ月余

りで4件、あの側道ですよ。そこで、私は、高野口も第一にしてほしいんですけど、第二にしてほしいところもあるんです。

といいますのは、橋本の体育館なんですよ。あそこでマラソン大会とかいろいろなイベントがありますが、あれと、あそこを下ってきた原田の三差路、あそこでは今警察がよく張っていますわな。そのくらい、あそこでも事故があったんじゃないですか。それほど重要な道路です、あの道路は。

体育館ということは、子どもだけじゃない、一般市民もまだこれから、各市町村からも来ているいろいろやろうとしておるんですけども、そのときにあそこで事故が、信号がないということは非常に不便な道路なんですけども、その点、部長あたりはどう考えておられますか。

○議長（中上良隆君）建設部長。

○建設部長（樽井豪男君）今ご指摘の箇所は、運動公園を出てきて、原田幹線との三差路という認識と思っておりますけど。

まず、あそこにつきましては、イベント等が非常に多いときにはそういった台数もあると思いますが、今の原田幹線をつけるにあたっては、あの分については当初から信号要望等はしておりませんでした。なお、そういった状況を見ながら警察のほうにも要望してまいりたい。

ただし、今言った側道、もっとほかにも信号要望が多々あります。橋本市内の中でもかなりの信号要望があります。そういった中でどれに優先順位をつけていくかというのは県の公安委員会の判断になりますので、そこらあたりはご理解を願いたいと思います。

○議長（中上良隆君）8番 岡本君。

○8番（岡本昌次君）県の公安委員会のほうでちょっと聞きましたところ、調査をして、交通量をメインに言うておりましたよ。時間

帯と何時間通るか、それで勘察していくんだと。そうなれば、人の命は何とも思っていない。ましてや通学路となれば、これは先ほども言いましたけど、市長はよく口ぐせのように言っておりますけど、子どもは宝と。本当に宝ですよ。その子どもも教育のほうでは、あの交差点ではどのような指導をしておられるかわかりませんが、やはり交通事故の要素というものが重なったときに起こるんだ。信号はなぜあるかということ、ボランティアはなぜあるのかということ、信号の使命、これをよく熟知して警察、公安委員会のほうへも言ってもらわなければ、人は朝夕だけ通るだけだと、それだけで話を終わっては困ると思うんです。

中学生もよくボランティアの方に怒られています、「早く渡れ」と。べらべら、三、四人自転車に来て、そして渡れといったらだーっと走っていく。それはなぜかというたら、信号がないからです。そのボランティアの方も限界があるんです。毎日3人ずつと、1日おるかというたらおらないんですから。それを熟知してもろうて、これから県、また国へそのことをおっしゃって、説明して、とりあえず一日も早くしてほしいと。まずは、私は通学路からやってもらいたいということで。よろしいですか。

○議長（中上良隆君）教育長。

〔教育長（森本國昭君）登壇〕

○教育長（森本國昭君）岡本議員のおっしゃっておられる交差点でございますけれども、既に校長、あるいはPTAの会長、教育委員に来ていただきまして、議員が言われるように西からくるカーブがございます。私も現場へ行って確認させていただきましたが、本当に危険なところでございます。

PTAの会長と高野口中学校の校長と教育委員会と妙寺警察へ行ってまいりまして、い

ろいろそういう話をしております。妙寺警察の方も大変危ないということは認識しております。まして、最優先に考えていくと、そういう話をしていただいておりますので、よろしくご理解のほどお願いしたいと思います。

○議長（中上良隆君）8番 岡本君。

○8番（岡本昌次君）今よき回答をいただきましたので、ぜひともこれを実現していただきたいと思っております。

以上をもちまして、私の質問を終わります。

○議長（中上良隆君）これをもって、8番 岡本君の一般質問は終わりました。

この際、10時50分まで休憩いたします。

（午前10時38分 休憩）